

第6章 地域福祉推進の体系

<理念>

『ともに生き ともに創る 心ふれあう幸せのまち 名張』

～人の力、地域のネットワークを生かし、おたがいさまで、支え合えるまちを目指して～

<戦略>

1. 地域のネットワークを生かし住み慣れた地域で一人ひとりがいきいきと暮らせるしくみづくり
2. 「人の力」を生かす参加と共助のしくみづくり
3. 「地域の力」を高める名張方式のしあわせ空間づくり

<重点目標>

1. 「地域福祉における地域包括ケアシステムの構築」
～いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために～
2. 「生涯現役で活躍できる環境整備」
～健康で生きがいをもって活躍し続けるために～
3. 「生活困窮者の自立に向けた支援体制の整備」
～自立した生活を支える地域づくりを目指して～
4. 「名張版ネウボラの構築」
～産み育てるにやさしいまち“なばり”を目指して～
5. 「地域ささえあいのさらなる充実」
～相互に支え合う心豊かな地域を創造するため、「共助」のしくみづくり～

<地域福祉推進のための施策>

1. 人と地域の力を合わせた名張方式の地域福祉の推進
 - (1) 地域福祉についての共通目標・共通認識の形成
 - (2) 地域福祉を支える福祉のまちづくりの推進
 - (3) 参加と協働の推進
 - (4) 地域福祉の充実に向けた意識づくり
 - (5) 持続可能な地域福祉のしくみづくり
2. 日常生活の安心を実現するための基盤の充実
 - (1) 暮らしやすい基盤づくり
 - (2) 質の高い多様なサービスの提供
 - (3) 共助のしくみづくり
 - (4) 安心な医療体制の構築
3. 支援をつなげる重層的な支援ネットワークの形成
 - (1) 見守りネットワークの充実
 - (2) 情報提供・相談体制の充実